

溶出試験装置の校正・MQ について

溶出試験プラクティカルセミナー

日程：2017 年 10 月 27 日

会場：(株)樋口商会 大阪支店

溶出試験は固形製剤の製剤開発、品質評価等で重要な役割を担う試験法です。

溶出試験の為に設計された溶出試験装置は、USP より供給される標準錠剤を用いた適格性評価が行われてきた経緯があり、特に日本では最も一般的な評価方法でした。

しかし、昨年施行された第十七改正日本薬局方の参考情報に記載される機械的校正は、従来とは別の溶出試験装置の適格性評価方法として注目されています。

本セミナーでは日本薬局方参考情報の機械的校正を中心に、各局・各機関の同等とされる適格性評価方法を紹介し比較、対策法等を解説いたします。

また、実習として Agilent 社製 280-DS MQS 測定装置と、Agilent 社製 708-DS 溶出試験装置の実機を使用した機械的校正を体験していただきます。

セミナーの内容

- ・溶出試験装置の適格性評価
- ・日本薬局方と各機関での機械的校正の内容の違い
- ・280-DS MQS を用いた機械的校正の実施
- ・当社取り扱い機器のご紹介

日時・時間

2017 年 10 月 27 日（金） 13:00～17:00

定員 8 名

開催場所 (株)樋口商会 大阪支店

住所：大阪市西区靱本町 1-20-13 なにわ筋ビル 8F

参加費 無料

申込方法 当社ホームページよりお申し込みください。



280DS MQ システム